

第18回

次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺の まちづくり市民検討会 ～まちづくりWG～

令和4年5月29日



今回のまちづくりWGの進め方について

前回のまちづくりWGでは、「淵野辺駅がどのような場所になってほしいか」のコンセプトを考えるための検討作業（分類分けやキーワード出しなど）を行いました。

今回のまちづくりWGでは、最初に前回の検討状況などの共有を行うとともに、まちなかの動線（駅南口から鹿沼公園・新たな施設への動線や、駅周辺に必要な機能や空間）について、視野を広げて考えていくため、「デザインマップ」の作成を行います。

その上で今後、改めてコンセプトを練り上げていければと思います。

①ワーク前の状態 (模造紙)

→ 「まちづくりに関する意見 (と思われる) カード」を4つの分類に事務局でピックアップ

利便性 8枚

全ての人が心地良く 来ることができるまちづくり 13	北口と南口をつなぐ道路 が必要な北口と南口 のネットワークを強化す る 15	ソフト面で良いものを残 して悪いものを更新して いく、新しいニーズに合 うようなこと 9
時代のニーズに合わせ た変更が必要 10	各施設の利便性の向上を 誰もが実感できる街づく りを考えたい 12	各施設の利便性の向上 を実感できる街づくり 7
中学生が気軽に集える 場所を作ってほしい 8	南口の魅力・ブランドは、駅の 近くにある広い公園及び公共 施設がそろっていること。 これらを毀損することなく利 便性を高め、利用する人たち の思いを実現する 6	

多世代交流 11枚

南口、北口からも利用で きる、人々が集まり憩え る場所 9	公園を中心に地域の色々な 団体(地区社協、南口商店会、学 生、子育て支援団体等)とコラ ボしたイベントが開催でき たり、人と人との交流の場が あり、地域コミュニティの活 性化が図れるような公園であ ってほしいです 14	地域コミュニティの場と しての公民館の利便性 の向上 1	高齢者+若者も楽しめる 施設 11
他施設とのコラボや子 どものつながり、居場所、 空間、防犯といったとこ ろで、コミュニケーション を取りながらやっていく 8	利用者や利用目的を意 識した、子どもから大人 まで交流できるような空 間づくり 16	多世代交流が地域で暮 らす多様な人と出会いの機 会を生み出す工夫をして ほしい 6	お祭りやイベントに使え る多目的広場や芝生公 園 4
	異年齢でも交流できるよ うな居心地の良い空間 (居場所)作り 2	公園の中にコミュニテ ィスペースがあることで、 世代間(子育て、若者、高 齢者)をつなぐ 5	子どもから大人まで交 流できるスペース 15

自然や文化などの淵野 辺らしさを大切に 5	南北を考えると、公共施 設のバランスと商店街 活性化が必要 3	北口は商業地区として、 魅力あるまちづくりを考 える 1
南口は研究機関や博物 館、公園、公共施設があ るので文教地区として のカラーを全面に出し たまちづくりをしたい 7	人がつながることで文化 的に発展していくまちづ くり 2	全ての人利用しやす いカフェがあり、どの駅 も同じような感じではな く、「ならでは」な雰囲気 が理想 4
北口:商業的賑わいの 維持 8	北口は商店街としてのカ ラーを大事に 6	新しいまちになりつつも、 良い文化は残していきたい 10
知らなかった施設を知 れる、気づく。外から見 ても楽しそう 9		

南口・北口ともに淵野 辺として住民にとって住 みよいまちづくり 2	鹿沼公園をはじめとし た自然を保全しながら、景 観や安全・安心、バリア フリーなどに配慮したま ちにしたい 5	現状維持(徐々にパー ジョンアップ)、各世代 それぞれの居場所がある まち 8
誰にでもやさしい街づく り 15	安全でやさしい雰囲気 のまちづくり 6	南口:緑豊かな公共施設 街、憩いの場の維持 9
普段は子育て世代や高 齢者が安心して暮らせる まち (施設や災害時の対応の 充実など) 17	南口は住宅地として、 ①緑のあふれるまちづ くり ②住みやすいまちづく りを考える 1	外国人の住民が増えてい るので、住みやすさもポ イント 4

個性・特色 10枚

生活環境 9枚

9枚

②ワーク後の状態 (模造紙) → 新たなキーワードへの変換

利便性

交通問題
自転車置き場の検討

コアのコンセプトが決まっていなくて何をどこに置かかというだけの議論になり、それはまちづくりではない

ここしばらくは北口にも公民館が必要な状態

次世代にひきつぐのは再整備×××再開発

経済的に豊かでも一部の者のためだったり騒々しいばかりで落ち着いて住めないまちはいやだ

「豊かさ」と「利便さ」とはちがう

図書館の建物は残したい

知らなかった施設を知れる、気づく。外から見ても楽しそう

追加した付せん

- 全ての人が心地良く行き来できるまちづくり 13
- 北口と南口をつなぐ道路が必要など北口と南口のネットワークを強化する 15
- ソフト面で良いものを残して悪いものを更新していく、新しいニーズに合うようなこと 9
- 時代のニーズに合わせた変更が必要 10
- 各施設の利便性の向上を誰もが実感できる街づくりを考えた 12
- 各施設の利便性の向上を実感できる街づくり 7

ゆるやかなつながり

個性・特色

- 南北を考えると、公共施設のバランスと商店街活性化が必要 3
- 北口は商業地区として、魅力あるまちづくりを考える 1
- 人がつながることで文化的に発展していくまちづくり 2
- 全ての人が利用しやすいカフェがあり、どの駅も同じような感じではなく、「ならでは」な雰囲気理想 4
- 新しいまちになりつつも、良い文化は残していきたい 10

跡地の活用

北口と南口の関係・つながり

お金かせげないとなりたくない

コミュニケーション

- 利用者や利用目的を意識した、子どもから大人まで交流できるような空間づくり 16
- 南口、北口からも利用できる、人々が集まり憩える場所 9
- 地域コミュニティの場としての公民館の利便性の向上 1
- 異年齢でも交流できるような居心地の良い空間(居場所)作り 2
- 駅に近い立地条件を活かし、老若男女問わず、様々な年代の方が利用する施設が望ましい。また、市主導より、民間・市民・団体が中心になるのが理想 3
- 公園の中にコミュニティスペースがあることで、世代間(子育て、若者、高齢者)をつなぐ 5
- 多世代交流が地域で暮らす多様な人と出会うの機会を生み出す工夫をしてほしい 6
- 他施設とのコラボや子どものつながり、居場所、空間、防犯といったところで、コミュニケーションを取りながらやっていく 8
- 公園を中心に地域の色々な団体(地区社協、南口商店会、学生、子育て支援団体等)とコラボしたイベントが開催できたり、人と人との交流の場があり、地域コミュニティの活性化が図れるような公園であってほしい 14
- お祭りやイベントに使える多目的の広場や芝生公園 4
- 子どもも大人も使える施設 10
- 公民館と児童館一体化 異世代交流できる場所 13
- 人が更に多く集まれるような施設になれば良いと思いました 12
- 中学生が気軽に集える場所を作してほしい 8
- 多世代交流が地域で暮らす多様な人と出会うの機会を生み出す工夫をしてほしい 6
- 南口の魅力・ブランドは、駅の近くにある広い公園及び公共施設がそろうていること。これらを毀損することなく利便性を高め、利用する人たちの思いを実現する 6

多世代交流

- 駅から「緑」が広がる南口
- 空の広さを残す
- 南口ロータリーの景色は美しいもう他の鉄道駅には残っていない(昔はどこにでもある風景だった)
- 鹿沼公園をはじめとした自然を保全しながら、景観や安全・安心、バリアフリーなどに配慮したまちにしたい 5
- 南口は住宅地として、①緑のあふれるまちづくり ②住みやすいまちづくりを考える 1
- 現状維持(徐々にバージョンアップ)、各世代それぞれの居場所があるまち 8
- 南口:緑豊かな公共施設街、憩いの場の維持 9
- 緑は残す、整える。木のバランスもとりながら維持管理 11
- 自然や文化などの淵野辺らしさを大切に 5
- 南口は研究機関や博物館、公園、公共施設があるので文教地区としてのカラーを全面に出したまちづくりにしたい 7
- 北口:商業的賑わいの維持 8

高齢者+若者も楽しめる施設 11

南口

生活環境

- 子どもから大人まで交流できるスペース 15
- 南口・北口ともに淵野辺駅として住民にとって住みよいまちづくり 2
- 北口は商店街としてのカラーを大事に 6
- 外国人の住民が増えているので、住みやすさもポイント 9
- 誰にでもやさしい街づくり 15
- 安全でやさしい雰囲気のみまちづくり 6

子どもも大人も使える、楽しめる施設 3

多くの人に来場してもらえること、近隣の大学生が経営を学ぶことができるスペースがある場所 1

公園内の制約を少なく、雨・風・寒さをしのげるような休憩場所カフェなど 4

事務局でピックアップしていなかった意見カード

③ワーク後の状態 (ホワイトボードに事務局で板書)

【キーワード出し】

○ゆるやかなつながり … コミュニティ (多世代交流)

- ・北口と南口の関係・つながりやすさ、人と人、地域と地域・次世代に土地を残す
- ・広場 (避難所機能)
- ・商業はどこまで? (北口と南口に求められるもの)
- ・高齢者、線路を跨ぐのが大変 (一定程度の店・規模)
- ・財政負担
- ・まちのにぎわい、人の動き
- ・まちづくりの視点から見た
コミュニケーション、公共施設、公園について

次回まちづくり
WG 検討テーマ



南口の動線を中心に
考える

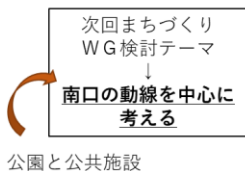
公園と公共施設



④ワーク後の状態 (事務局で整理) ← 事務局でワーク中の意見を整理

○ゆるやかなつながり … コミュニティ (多世代交流)

- ・北口と南口の関係・つながりやすさ、人と人、地域と地域 ・次世代に残す
- ・広場 (避難所機能)
- ・商業はどこまで? (北口と南口に求められるもの)
- ・高齢者、線路を跨ぐのが大変 (一定程度の店・規模)
- ・財政負担
- ・まちのにぎわい、人の動き
- ・まちづくりの視点から見た
コミュニケーション、公共施設、公園について



検討に当たってのキーワード

○ゆるやかな繋がり

- ※多世代交流、コミュニケーションからの変換
- ※北口と南口、人と人、地域と地域
…それぞれのゆるやかな繋がり・関係性

【下記はワーク中の意見】

●まちづくり

- ・「賑わいのまち」か「落ち着いたまち」か
- ・賑わいを持つまちづくり (賑わいは南口も必要)
- ・寂れさせないまちづくりがあって、賑わいに繋がる
- ・北と南の単なる差別化ではなく「交流」でつないでいく
- ・まちづくりのカたちの中で浸透していること (公共施設に人が集まりやすい)
- ・緑を残すこと、駅前を守ること
- ・まちづくりは、施設が出来たら終わりではなく、その先も考えていく
- ・まちづくりでの景観は重要

●開発・建築のルール

- ・建物の配置や敷地の取り方によって変わる
- ・道路整備や歩道設置等の義務あり

●商業

- ・「商業」をどこまで考えるか (北口と南口に求められるもの)
- ・南口まちづくり協定 (1階は店舗)
- ・買物困難者 (高齢者等) は線路を跨ぐのが大変
- ・一定程度の規模の店舗は必要
- ・(地域の) 購買意欲に見合ったもの

●財政負担 (財源確保)

- ・商業の制限は財政負担に影響する
- ・財源が生み出せないと施設規模の縮小も有り得る
- ・施設で人流を生み出し、いかに稼ぐか (民間の視点)

●ハード面での意見

- ・跡施設 (建物) の取扱い、公園外周歩道の必要性、ロータリー等の再整備

●跡地

- ・次世代のための土地 (自転車置場・公民館敷地) を残す
- ・一度売却しまうと戻ってこない
- ・売却よりも定借が好ましい
- ・当面はトライアルで活用 (例: 何も建てない使い方) (北口と南口が繋がりやすい関係になれるように)
- ・広場を求める声あり (イベントや災害時での活用)

●コミュニケーション

- ・コミュニケーションの場の持ち方、どうあるべきか
- ・コミュニケーションから、公園や施設にどのようなものを求めるか

●交通・自転車・自動車

- ・自転車駐車場の場所、朝夕の自転車渋滞
- ・自転車駐車場の位置を考える
- ・駅前には自転車が多く、信号無視、違法な道路横断が多い
- ・交通規制 (一方通行等) によるコントロール
- ・施設再整備後の影響による新たな問題発生 (駐車場不足、違法駐車)

●その他

- ・何を大切にしていくか、何を残していくかを優先順位付け
- ・人の活動、人の動き (流れ) を意識した議論が必要

1. まちづくり協定について

- 淵野辺地区南口まちづくり協定（平成5年締結）
 - ・協定適用区域を設定（駅南口、駅前東西道路）
 - ・まちづくり委員会との事前協議・調整が必要
 - ・建物の新築・増改築等に関する事前協議事項として、「通りに面する1階部の商業的利用を促進する」など

2. 公園内での施設整備について

- 公園内は基本的に公園施設として定められたものしか設置できない。
- 建築物の建築敷地は施設の配置位置によって設定

※関連法令等（都市計画法、建築基準法、都市公園法、市関係条例等）



ワーク1 「小グループ内でのディスカッションと発表」

【45分】

1. 「駅南口から鹿沼公園・新たな施設への動線」や「駅周辺に必要な機能や空間」について、小グループ（三人又は四人一組）になってディスカッションします。

※小グループごとにテーブルを分けてディスカッションします。

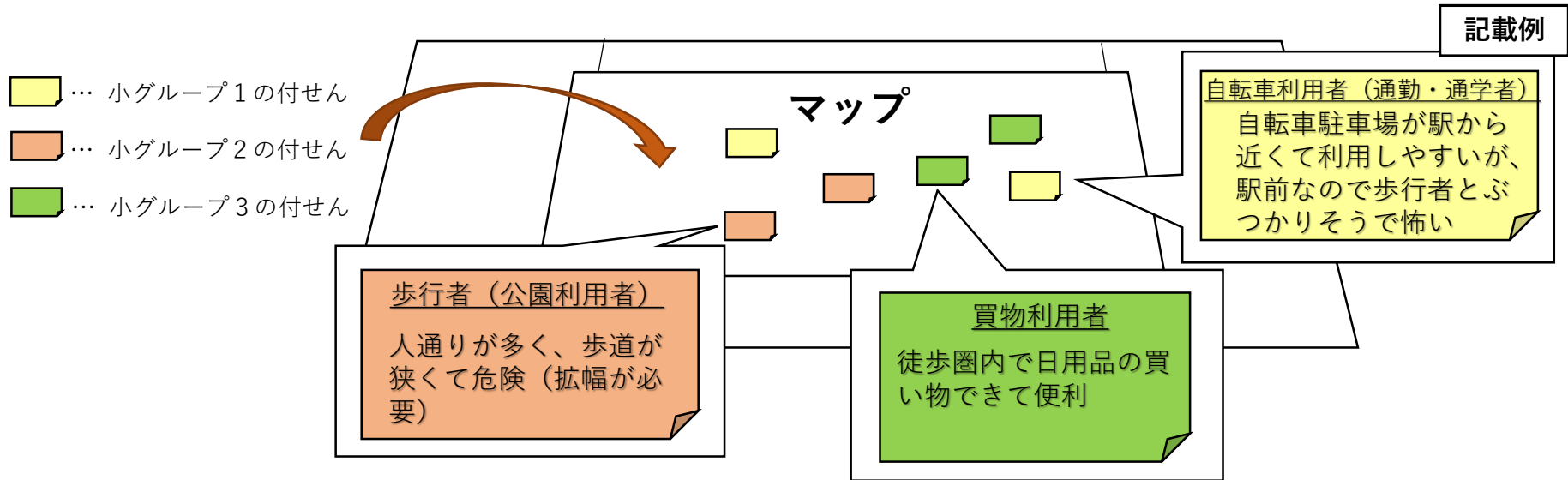
※事前送付した「ワークシート（両面：淵野辺駅周辺マップ拡大版・縮小版）」（A4サイズ）も活用しながら進めてください。

2. 駅周辺を利用する方々（例：歩行者や自転車利用者、施設の管理者など）の立場や動きをイメージし、小グループ内で共通意見や重要なポイントについて、付せん（小グループごとに色が異なる）に書き出してください。

※書き出した付せんは、いったん小グループ内で留め置いてください。

3. 小グループ内でのディスカッション後、書き出した付せんをテーブル上に配置している「淵野辺駅周辺マップ」(A0サイズ)の関係する場所や付近に貼り付けます。

※ここから小グループからまちづくりWG全体で意見の共有に移ります。



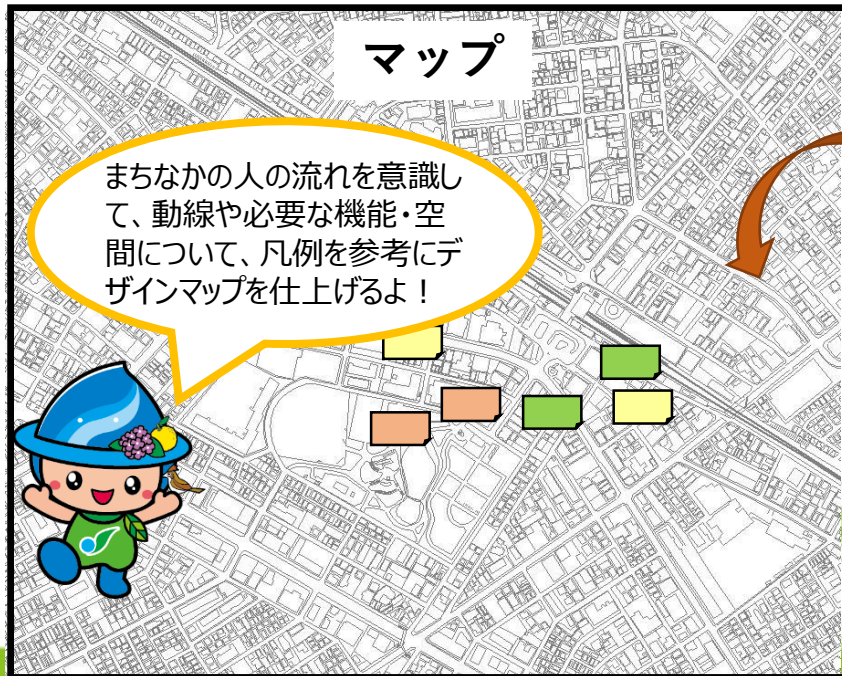
4. 最後に小グループごとに、テーブル上のマップや付せんを指し示しながら発表し、意見の共有を図ります。



ワーク2 「デザインマップの作成」【45分】

1. テーブル上に配置している付せんが貼られた「淵野辺駅周辺マップ」(A0サイズ)に直接、「駅南口から鹿沼公園・新たな施設への動線」や「駅周辺に必要な機能や空間」を落とし込みます。

※まちづくりWG全体でディスカッションし、ある程度合意形成ができた内容をサインペンなどで書き込んでください。



以下はあくまで凡例です

【軸・ゾーン・エリア・場所など】

↔ 動線	○ 生活
⇄ ネットワーク	○ 商業
○ 交流・コミュニティ	○ 緑
○ 防災	
● おすすめの場所	● 残念な場所
● 改善すべき場所	● ○○な場所

ワークの進め方

～余った時間で～

2. 「デザインマップの作成」までのワークを踏まえ、また、本資料6ページも参考にしながら、改めてまちづくりWG全体でコンセプトに繋がるようなキーワード出しを行います。

本資料6ページ

○ゆるやかなつながり…コミュニティ(多世代交流)

- ・北口と南口の関係・つながりやすさ、人と人、地域と地域、次世代に残す
- ・広場(避難所機能)
- ・商業はどこまで?(北口と南口に求められるもの)
- ・高齢者、線路を跨ぐのが大変(一定程度の店・規模)
- ・財政負担
- ・まちのにぎわい、人の動き
- ・まちづくりの視点から見たコミュニケーション、公共施設、公園について

次回まちづくりWG検討テーマ
↓
南口の動線を中心に考える

公園と公共施設

検討に当たってのキーワード

○ゆるやかな繋がり

※多世代交流、コミュニケーションからの変換

※北口と南口、人と人、地域と地域
…それぞれのゆるやかな繋がり・関係性

【下記はワーク中の意見】

●まちづくり

- ・「賑わいのまち」か「落ち着いたまち」か
- ・賑わいを持つまちづくり(賑わいは南口も必要)
- ・寂れさせないまちづくりがあって、賑わいに繋がる
- ・北と南の単なる差別化では無く「交流」でつないでいく
- ・まちづくりのカタチの中で浸透していること(公共施設に人が集まりやすい)
- ・緑を残すこと、駅前を守ること
- ・まちづくりは、施設が出来たら終わりではなく、その先も考えていく
- ・まちづくりでの景観は重要

●商業

- ・「商業」をどこまで考えるか(北口と南口に求められるもの)
- ・南口まちづくり協定(1階は店舗)
- ・買物困難者(高齢者等)は線路を跨ぐのが大変
- ・一定程度の規模の店舗は必要
- ・(地域の)購買意欲に見合ったもの

●跡地

- ・次世代のための土地(自転車置場・公民館敷地)を残す
- ・一度売却しようと戻ってこない
- ・売却よりも定借が好ましい
- ・当面はトライアルで活用(例:何も建てない使い方)(北口と南口が繋がりがしやすい関係になれるように)
- ・広場を求める声あり(イベントや災害時の活用)

●交通・自転車・自動車

- ・自転車駐車場の場所、朝夕の自転車渋滞
- ・自転車駐輪場の位置を考える
- ・駅前には自転車が多く、信号無視、違法な道路横断が多い
- ・交通規制(一方通行等)によるコントロール
- ・施設再整備後の影響による新たな問題発生(駐車場不足、違法駐車)

●その他

- ・何を大切にしていけるか、何を残していくかを優先順位付け
- ・人の活動、人の動き(流れ)を意識した議論が必要

●財政負担(財源確保)

- ・商業の制限は財政負担に影響する
- ・財源が生み出せない施設規模の縮小も有り得る

●コミュニケーション

- ・コミュニケーションの場の持ち方、どうあるべきか
- ・コミュニケーションから、公園や施設にどのようなものを求めるか

●ハード面での意見

- ・跡施設(建物)の取扱い、公園外周歩道の必要性、ロータリー等の再整備

最後に本日のまちづくりWGの結果を発表させていただきます!